

平成26年度
学校支援ボランティア推進協議会事業
活動実践事例集

東京都教育庁地域教育支援部

はじめに

- 平成18年12月の教育基本法の改正で、「学校・家庭・地域住民等との連携協力」に関する条文が規定され、次代を担う子供たちの育成に社会全体で取り組むことが明記されました。
- 都教育委員会は、その改正趣旨を盛り込んだ「東京都教育ビジョン」(第2次)[平成20年5月]に引き続き、第3次の東京都教育ビジョンを平成25年4月に策定し、施策を推進しています。

本ビジョンは、「社会全体で子供の『知』『徳』『体』を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を培う」ことを基本理念とし、五つの視点に基づき、10の基本的方向性と23の主要施策を示しています。

「学校支援ボランティア推進協議会」についても、「地域・社会の教育力向上を図る」という方向性に基づき、地域の実情や学校のニーズに応じた、多様な地域人材の参画による教育支援活動を展開するため、区市町村における設置を促進することとしています。
- 本事業は、国の「学校支援地域本部」事業を活用して、平成20年度から開始し、平成26年度は、都内23区市町において約850校の公立小・中学校で、それぞれの地域の実情や学校のニーズに応じた多様な活動が展開されています(平成26年11月1日現在)。
- 都教育委員会では、区市町村の取組を支援するため、各地区で実施されている活動事例や企業等の教育支援活動等の情報提供を行うとともに、学校と地域等を結ぶコーディネーターの養成や情報交換・交流の機会などを提供しています。
- この報告書は、各地区で実施された学校支援の取組の概要と具体的な事例等を紹介することで、都内各地区における子供の教育活動を支援する多様な活動が、より充実していくための一助となるよう作成したものです。是非御一読いただきまして、地域における学校支援の取組が円滑に実施されるよう御活用ください。

目 次

◆ 学校支援ボランティア推進協議会事業について	1
◆ 東京都教育委員会の取組	2
◆ 平成26年度学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区一覧	3
◆ 各地区の取組	
港 区	4
文 京 区	6
墨 田 区	8
江 東 区	10
大 田 区	12
世 田 谷 区	14
中 野 区	16
杉 並 区	18
北 区	20
板 橋 区	22
葛 飾 区	24
江 戸 川 区	26
八 王 子 市	28
府 中 市	30
調 布 市	32
町 田 市	34
小 平 市	36
日 野 市	38
福 生 市	40
多 摩 市	42
稲 城 市	44
あきる野市	46
日 の 出 町	48

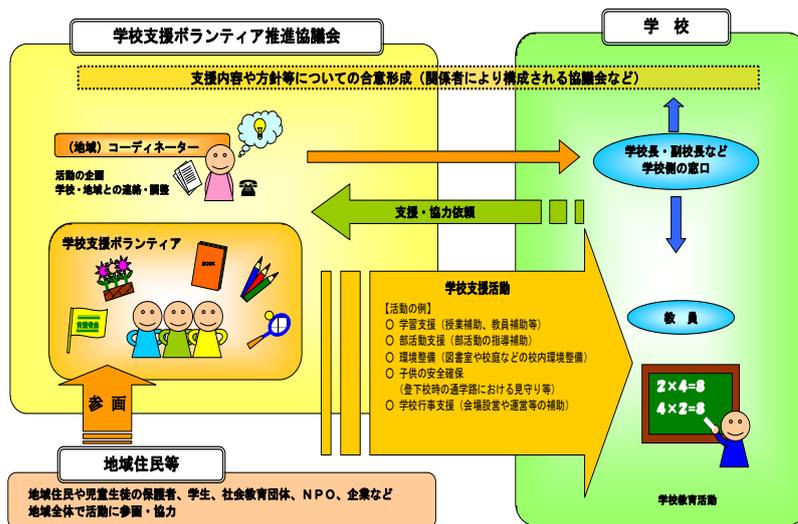
学校支援ボランティア推進協議会事業について

1 「学校支援ボランティア推進協議会事業」の概要

学校支援ボランティア推進協議会事業（国事業名「学校支援地域本部事業」）は、地域全体で学校教育を支援する仕組みを構築し、地域住民や保護者等がボランティアとして学校教育を支援する取組である。

子供の学びをサポートすることを目的に、コーディネーターという役割を担う人たちが中心となり、学校教育に学校支援ボランティアとして地域住民など学校外の力を提供することで、学習支援、クラブ・部活動指導、環境整備、子供の安全指導等学校のニーズに応じた様々な支援活動が展開されている。

【「学校支援ボランティア推進協議会事業」のイメージ】



2 「学校支援ボランティア推進協議会事業」の効果等

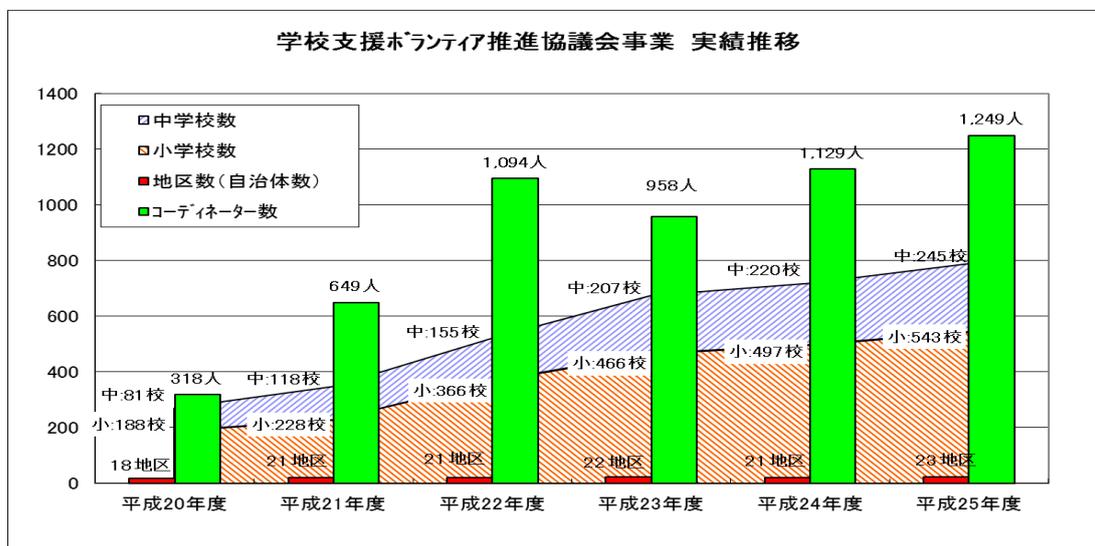
学校と地域の連携の仕組みである学校支援ボランティア推進協議会の下に、学習支援活動、学校の環境整備や登下校の安全確保など、多様な知識や経験を持つ大人と触れ合う機会を通じて、子供たちにとって「本物」との出会いやコミュニケーション能力の向上が期待できる。

また、地域にとっては学校との連携を図ることにより、交流の機会が増加し、地域のきずなが深まり、地域の活性化が期待できる。さらに、学校にとっては、授業の準備や学習支援のサポートにより、今まで以上に充実した授業につながる効果などが期待できる。

3 「学校支援ボランティア推進協議会事業」の実績

（学校数、地区数[自治体数]、コーディネーター数の推移）

※平成20年度から22年度は国庫委託事業、23年度から国庫補助事業として実施した実績を示す。



東京都教育委員会の取組

東京都教育委員会では、広域的な立場から地域における学校支援の取組を支援するため、主に次のような活動を展開している。

東京都推進委員会

都内の教育支援活動等の総合的な在り方の検討などを行う。

コーディネーター研修

「学校支援ボランティア推進協議会事業（学校支援地域本部）」実施自治体における、経験年数の浅いコーディネーターや行政職員等を対象として「コーディネーター基礎研修」を実施

	月日	内容等	会場
1	9月29日	<p>■内 容</p> <p>学校支援に関する基礎知識や考え方について理解するための講義等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校支援事業について(背景等) ○学校教育支援の基礎知識 ○コーディネーターの役割と業務の理解 ○学校と地域との良好な関係づくりのために <p>■参加:74名(16自治体)</p>	 <p style="text-align: center;">東京都教職員研修センター</p>
2	10月24日	<p>■内 容</p> <p>学校支援に関する基礎知識や考え方について理解するための講義等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校支援事業について(背景等) ○学校教育支援の基礎知識 ○コーディネーターの役割と業務の理解 ○学校と地域との良好な関係づくりのために <p>※その他グループワーク</p> <p>■参加:49名(13自治体)</p>	 <p style="text-align: center;">東京ウイメンズプラザ</p>

事業普及活動

地域における「学校支援ボランティア推進協議会」（学校支援地域本部）の設置・推進を図るため、活動PR用のリーフレットの配布、東京都生涯学習情報（HP）及び広報誌（「とうきょうの地域教育」）を通じた特色ある活動事例の紹介などを行う。

地域教育推進ネットワーク東京都協議会との連携

「地域教育推進ネットワーク東京都協議会」の教育支援コーディネーター部会において、コーディネーターを対象にした事業を実施

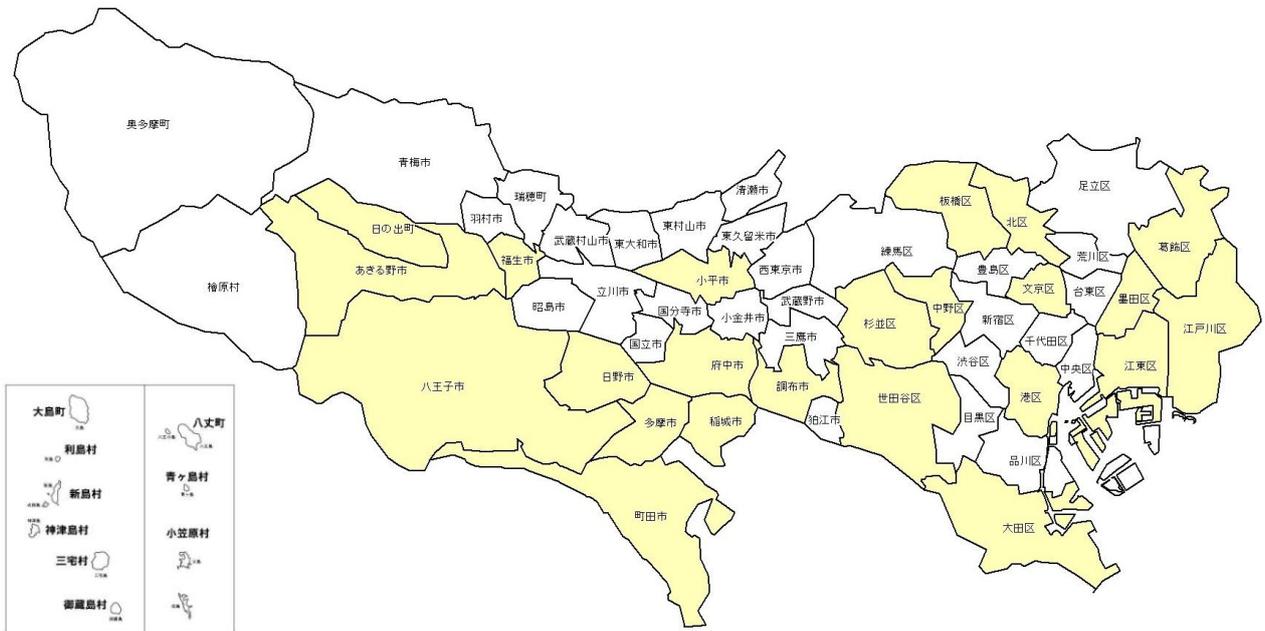
【コーディネーター・ミーティング】

各地域で活動しているコーディネーターを対象に、地域を越えて交流し、他地域の様々な取組事例に触れる機会を提供するとともに一人一人のレベルアップとコーディネーター同士の情報交換を目的に実施

【コーディネーター・フォーラム】

社会貢献の一環として教育支援プログラムを提供する企業やNPOなどとコーディネーターが出会う機会を設け、コーディネーターが情報収集を行う機会を提供することを目的に実施

平成26年度学校支援ボランティア推進協議会事業実施地区一覧



○ 平成26年11月1日現在の地区別実施規模

実施地区名	実施校数			コーディネーター数	実施支援活動						
	小学校	中学校	合計		学習支援	クラブ活動指導	環境整備	安全指導	登下校行事	その他	
	校	校	校	人							
1 港区	19	10	29	3	○	—	—	—	—	—	—
2 文京区	14	3	17	89	○	○	○	○	○	○	○
3 墨田区	25	10	35	14	○	○	—	—	○	—	—
4 江東区	11	4	15	65	○	○	○	○	○	○	○
5 大田区	59	28	87	250	○	○	○	○	○	○	○
6 世田谷区	37	13	50	63	○	○	○	○	○	○	—
7 中野区	25	11	36	30	○	○	○	○	○	○	○
8 杉並区	42	23	65	171	○	○	○	○	○	○	○
9 北区	37	12	49	69	○	○	○	○	○	○	—
10 板橋区	22	4	26	66	○	○	○	○	○	○	○
11 葛飾区	24	12	36	34	○	○	○	○	○	○	—
12 江戸川区	73	33	106	106	○	○	○	○	○	○	○
13 八王子市	59	35	94	124	○	○	○	○	○	○	—
14 府中市	21	11	32	45	○	○	○	○	○	○	○
15 調布市	4	1	5	17	○	○	○	○	○	○	—
16 町田市	42	20	62	97	○	○	○	○	○	○	○
17 小平市	19	8	27	48	○	○	○	○	○	○	○
18 日野市	17	0	17	30	○	○	○	○	○	○	—
19 福生市	7	3	10	10	○	—	○	○	○	○	○
20 多摩市	18	9	27	13	○	○	○	—	○	○	○
21 稲城市	7	4	11	12	○	○	○	○	○	○	○
22 あきる野市	2	0	2	2	○	—	○	○	—	○	○
23 日の出町	1	0	1	1	○	—	○	○	—	—	—
合計	585	254	839	1359							

※この表は、4ページ以降の各地区の取組から「◆区市町村における『学校支援ボランティア推進協議会』の実施状況」を集計したものである。